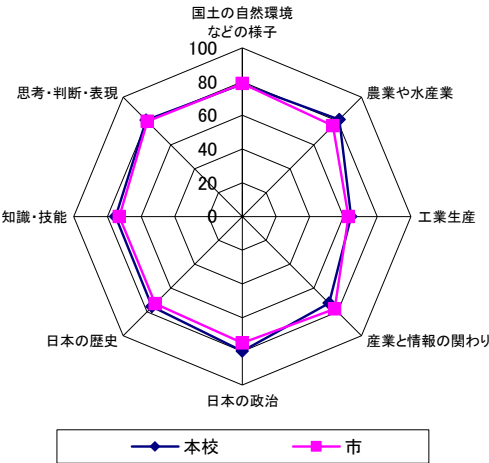


宇都宮市立瑞穂台小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	78.5	78.9	75.4
	農業や水産業	81.3	76.1	71.2
	工業生産	64.5	62.9	59.4
	産業と情報の関わり	72.8	77.6	59.7
	日本の政治	79.9	75.0	79.3
	日本の歴史	75.7	73.1	72.8
観点別	知識・技能	75.1	73.0	71.4
	思考・判断・表現	80.7	79.8	71.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	市の平均正答率をやや下回っている。 ●中国の国旗と位置を問う問題と、日本の主な地形の名称と位置を地図から読み取る問題の正答率が市の正答率をやや下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・地図帳や白地図を活用する学習を取り入れることにより、地形の名称と位置を視覚的に理解できるように指導する。 ・地図帳を活用したり、教室の掲示物を工夫したりすることにより、他の国の位置や国旗の理解の定着を図る。
農業や水産業	市の平均正答率を上回っている。 ○都道府県の位置の理解をもとに、米の生産量について表を読み取り、白地図にまとめる問題の正答率は、市の正答率を10点以上上回っている。 ●日本の農業人口をめぐる課題について資料から読み取る問題の正答率が、市の正答率よりやや低い。	・資料を多面的に読み取る力が弱いため、資料の読み取り方を指導する。 ・資料を読み取った後で、友達と意見を交流し合うことにより、多面的な見方ができるように指導する。
工業生産	市の平均正答率をやや上回っている。 ○大工場と中小工場についての理解を問う問題の正答率は、市の正答率を上回っている。 ●日本の鉱山資源の輸入について、資料から読み取る問題の正答率が、市の正答率よりもやや低い。	・日本の主な輸入品と輸入相手国についての基礎的な知識の定着を図る。その際に地図帳を活用して輸入相手国の位置を確認する活動を取り入れていく。 ・資料を多面的に読み取る力が弱いため、資料の読み取り方を指導する。
産業と情報の関わり	市の平均正答率をやや下回っている。 ●インターネットを利用するときの注意点についての理解を問う問題の正答率が、市の正答率より低い。 ●資料に着目して、コンビニエンスストアのポイントカードの利点を考え、表現する問題の正答率が、市の正答率より低い。	・一人一台端末を活用し、情報ネットワークの役割を理解させるとともに総合や他教科での具体的な活用の場面で、インターネットの特性を理解できるよう、引き続き重点的に指導し、実体験の中から理解を図る。 ・放送、新聞などから、産業の様子がどのように伝えられているかなどの問いを設け、調べて表現する学習を増やす。
日本の政治	市の平均正答率を上回っている。 ○日本国憲法の三原則についての理解を問う問題の正答率は、市の正答率よりも約10点高い。 ●非核三原則についての理解を問う問題の正答率が、市の正答率よりも若干低い。	・知識として定着できるよう、日頃から社会情勢に興味をもたせるような指導の工夫をする。
日本の歴史	市の平均正答率を上回っている。 ○飛鳥時代の出来事についての理解を問う問題の正答率は、市の正答率を約10点以上上回っている。 ●武家諸法度についての理解を問う問題の正答率が、市の正答率よりも低い	・歴史上の人物名や史実の事実確認ばかりに偏らず、歴史の流れや背景、史実がその時代に考えた影響等、歴史上の人物の思想などを意識しながら、関連資料の一つひとつを丁寧に指導する。